

2013 年度

事業報告書

特定非営利活動法人ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト

1 年間報告（2013 年 4 月～2014 年 3 月）

本年度は、植林中心の活動から、過去の植林地の維持や先住民の所有する森林での養蜂、果樹栽培、沈香の植林等のアグロフォレストリーを進めて行き、コミュニティー・フォレストリーを実現していくための活動に軸足を移していきました。説明会などを通して、より多くの現地先住民の意識改革にも繋がったと思います。今年度は、コミュニティー・フォレストリー活動として、養蜂の巣箱設置と、沈香の植林を行いました。村人にとっての有用な植物が、保全活動につながる事を認識でき、今後の課題となりました。年間の新規植林規模は 20ha と縮小して、既植林地での維持活動の比重を多く、活動しましたが、改めて、維持活動の重要性を認識できました。

2 詳細

1) サラワク州森林局担当者との年度計画の打ち合わせ

日時・場所： 2013 年 4 月 5 日 サラワク州森林局植林部会議室

出席者： Mr. Johin Ak Ngayop サラワク州森林局植林部部長）、
Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長） 延べ 5 名

内容： 昨年と同じく植林活動の体制と、サラワク州森林局の協力内容の確認、活動の問題点や課題に関する打ち合わせ。

2) サバル森林保護地区近隣の先住民との打ち合わせ

日時・場所： 2013 年 4 月 8 日 サバル森林保護地区内事務所にて。

出席者： Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長）

鍋嶋誠一郎（NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長）

Mr. Ekin Empati 他村人 10 名 延べ 13 名

内容： 年間計画における植林の日程や人員動員に関する打ち合わせ。効率の良い時期の設定、先住民の農耕作業との兼ね合いができる日程等の打ち合わせ。

3) 2013 年度 上田東&六文銭ロータリークラブの植林、並びにサバル森林保護地区年間 20ha 計画の第 1 回植林。

上田東&六文銭ロータリークラブの植林は、今回で 3 回目となり、*Shorea Macrophylla* の樹種を選び、先住民 10 名で 10 日間の作業を行いました。

・日時、場所 2013 年 4 月 9 日～4 月 18 日 サバル森林保護地区

400 本（1 ha）

樹種：*Shorea Macrophylla*

・従事者 Mr. Jonathan Lat（サラワク州森林局植林部）

酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名 他

4) サバル森林保護地区年間 20ha の第 2 回植林、維持活動。

コミュニティー・フォレストリーの対象地として、Sabal Kruin 村、Sabal Apeng 村、Sg. Kura 村の 3 か所を確定し、この 3 村の代表者への合同説明会を実施しました。(下期の実施直前にも改めて説明会を行う予定です)

- ・日時、場所 2013 年 5 月 13 日～5 月 26 日 サバル森林保護地区
800 本 (2.00 ha)
樹種 : *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名
Sabal Kruin 村、Sabal Apeng 村、Sg. Kura 村の 3 村の代表者

5) 2013 年度 バグースサラワク会の植林、並びにサバル森林保護地区年間 20ha の第 3 回植林及び維持活動。

今年のバグースサラワク会の植林が 6 月でしたので、月 1 回のペースで順調に作業が来ています。維持活動は 5 月の作業時に習得した「下枝落し」を中心に行いました。

- ・日時、場所 2013 年 6 月 12 日～6 月 22 日 サバル森林保護地区
800 本 (2.00 ha)
樹種 : *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名

6) 立教大学観光学部植林

今回で 4 回目となる立教大学観光学部の植林を行いました。過去同様に苗運びから穴掘り、植込み、肥料頒布、一式を行う植林で、学生と先住民の人々との交流がおこなわれました。

- ・日時、場所 2013 年 8 月 2 日～8 月 8 日 サバル森林保護地区
400 本 (1 ha)
樹種 : *Shorea Macrophylla*
- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名 他

7) N. GKS 第 18 次澤井隊の植林

今回で5回目となるN.GKS 澤井隊の植林は、平成23年度3月に続き、近隣の約70名の小学生を招待し、大規模なものとなりました。今回から2校の小学校となり幅を広げる事が出来ました。

・日時、場所 2013年8月20日～8月29日 サバル森林保護地区

800本(2ha)

樹種: *Shorea Macrophylla*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民10名
テラグス小学校の5～6年生の60名と引率教員
セバンコイ小学校の5～6年生が10名と引率教員

8) サバル森林保護地区年間20ha 第4回植林 及び 維持活動。

新規植林の400本以外に、維持活動は、枯れた苗木の植替え、及び、緩効性肥料頒布を中心に行いました。また、3m以上の木は枝打ち作業を行いました。

・日時、場所 2013年10月18日～10月31日 サバル森林保護地区

800本(2.00ha)

樹種: *Shorea Macrophylla*

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民10名

9) サバル森林保護地区年間20ha 植林第5回植林(2ha)、及び、維持活動

並びに、サバル森林保護地区近隣のコミュニティ・フォレストリー

3ヶ所の村各村で、コミュニティ・フォレストリーの説明会、及び、モデル植林として、沈香の木を3村で植えました。説明会の際に、村人から出た要望では、コミュニティ・フォレストリーとして、ゴム、養蜂、食用キノコ、果樹、養殖、様々な意見が出ましたが、共通するのは、生活に結びつく物でした。

・日時、場所 2013年11月14日～11月27日 サバル森林保護地区

800本(2.00ha) 樹種: *Shorea Macrophylla*

2013年11月19日～11月23日 Sabal Aping 村/ Sabal Kruin Lama 村/Sabal Kruin Baru

村

各村 200本 (合計600本) 樹種: 沈香

- ・従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民10名 Sabal Aping 村/ Sabal Kruin Lama 村/Sabal Kruin Baru 村の各村民

10) サバル森林保護地区年間20ha の6回植林 及び 維持活動。

新規植林、及び、維持活動は、特に、アクセスが難しい地域を中心に行いました。

・日時、場所 2013年12月7日～12月21日 サバル森林保護地区

1400本(3.50ha)

樹種: *Shorea Macrophylla*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10 名

11) サバル森林保護地区の年間 20ha 第 7 回植林 及び 維持活動 (10ha)

生協連合会アイチョイス協力会 (旧あいち生活協同組合協力会) (1ha)

及び 東京羽田ロータリークラブ (4ha) 及び エコプロダクツ 2013 の森 (0.5ha)

今年度で、3 回目となる、生協連合会アイチョイス協力会 (旧あいち生活協同組合協力会)、及び、本年度と来年度 (2014) で、6 回目となる東京羽田ロータリークラブの植林、及び、今年で、5 回目となるエコプロダクツ 2013 の森の、それぞれの植林を行いました。

- ・ 日時、場所 2014 年 3 月 3 日～3 月 22 日 サバル森林保護地区
2200 本 (5.50ha)

樹種 : *Shorea Macrophylla Dryobalanops beccarii*

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10 名

12) サバル森林保護地区近隣のコミュニティ・フォレストリー

蜜蜂の巣箱設置と沈香の木の植林 及び、サバル森林保護地区の維持活動

雨季が明けて、強い要望があった 2 村で、蜜蜂の巣箱の設置と沈香の植林を行いました。

- ・ 日時、場所 2014 年 3 月 24 日～3 月 31 日 Sabal Apeng 村/ Sabal Tapang 村
各村 200 本 (合計 600 本) 樹種 : 沈香

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民族 10 名 Sabal Apeng 村/ Sabal Tapang 村

13) サバル森林保護地区での苗作りと苗育成作業

サバル森林保護地区、森林局事務所の苗畑センターでの苗作りと苗の育成を定期的に先住民の人々に手伝ってもらっています。週に 1 回、植林に関わる人々から数人ずつで、苗畑センターにてポット苗作り、水掛け、肥料やり等の作業をします。苗木も出来るだけ沢山の種類を育てる事が出来る様にしています。

- ・ 日時、場所 2013 年 4 月～2014 年 3 月 サバル森林保護地区の事務所の苗畑センター

- ・ 従事者 Mr. Jonathan Lat (サラワク州森林局植林部)
酒井和枝 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト理事長)
鍋嶋誠一郎 (NPO ボルネオ熱帯雨林再生プロジェクト副理事長)
先住民 10 名

以上